

## 仲宿地区まつり

第1ブロック(板橋・熊野・仲宿)

仲宿地区 北村 康子

5月28日(日)板橋第九小学校で「第28回仲宿地区まつり」が開催されました。

JL(ジュニアリーダー)は「風船コーナー」で、地域の防犯活動を推進するための啓発用風船を、長い行列を作って並んでいる子どもたちに手渡ししてくれました。JLが、これからも地域の行事や夏のキャンプで活躍してくれることを期待しています。

また「被災地支援コーナー」では、福島県白河市の野菜等を直売していましたが、午後2時の終了前に完売しました。

他のコーナーも暑い中、大盛況でした。



## ジュニアリーダー体験教室

第2ブロック(常盤台・中台・桜川)

桜川地区 酒井 淳子

5月14日(日)新年度初のブロック行事、JL体験教室を常盤台地域センターで行いました。

午前中はゲームやダンスの指導練習、午後は一般の参加者40名を迎え、3地区のJLが力を合わせ、練習の成果を発揮して、体験教室を盛り上げました。当日参加したJLは50名を超え、司会進行、活動紹介、ゲームやダンスの説明すべてをJLが担当し、笑い声の絶えない楽しい時間となりました。

終了後には、早速入会の申し込みが、今年度も楽しいJLを交え、一段と楽しく活発な活動が期待できそうです。



## こどもわくわくフェスタ

第3ブロック(仲町・富士見・大谷口)

富士見地区 小川 弘行

5月28日(日)、「こどもわくわくフェスタ」が板橋区平和公園において開催されました。

仲町、富士見、大谷口のJLと顧問24名、応援に駆けつけてくれたJL顧問会の4名は、シユシユ、くるくる変わり絵、ストローロケットの3種類の工作で会場に集まった子どもたちと交流しました。延べにすれば千人近い子どもたちを相手に休憩も取れないほどの大車輪の活躍でした。一生懸命教えるJLと小さな手で真剣にチャレンジする子どもたちが、楽しく、微笑ましい時間を共有しました。



## 各ブロック・地区でのジュニアリーダーの活動

### 親子ふれあいフェスティバル

第4ブロック(下赤塚・成増・徳丸)

成増地区 森田 浩幹

「プランバッチづくりませんか?」JLたちの呼びかけが、会場にやって来た親子連れを引きつけます。6月3日(土)今年も恒例となった、成増青健としらさぎ・なります児童館との共催事業「親子ふれあいフェスティバル」が開催されました。今回は主力の中学生が運動会と重なってしまったので、小学生が中心となって高校生リーダーやJL顧問会メンバー、また町会青健委員の方々のサポートをいただきながらの「プランバッチコーナー」運営となりました。

透明なプランパンに好きな絵を描いてもらうものと白いプランパンに描かれたイラストに色を付けてもらうものと2種類用意しましたが、意外に透明なプランパンが人気で、当日参加が出来ない中学生リーダーが作成してくれた、透明なプランパン用の下絵が好評でした。

例年と異なり、敢えてプランパンだけのコーナーになりましたが、小学生リーダーが一生懸命に対応してくれました。そして、青少年委員とともに走り回ってくれたJL顧問、高校生リーダーにも感謝!



### 板橋区親子たこあげ大会

第5ブロック(蓮根・舟渡・高島平)

舟渡地区 保坂 力

4月29日(土)、日本の伝統的な遊びである「たこあげ」を親子で体験する「板橋区親子たこあげ大会」が新河岸二丁目先の荒川戸田橋緑地野球場で開催されました。このイベントは手作りのたこがプレゼントされるなど毎年大変好評を得ており、今年で38回目を迎えています。

第5ブロックのJL会は「ビニール凧の作成体験」コーナーを担当し、参加いただいた未就学児に優しく丁寧に「ビニール凧」と「ビニールこいのぼり」の作り方を教えていました。

作成会場が空くと、たこあげを楽しんでいる親子に自ら積極的に声掛けを行うなどJLとしての自覚と意欲が強く感じられ、青少年委員として誇らしい一日となりました。



### 第6ブロック研修会

第6ブロック(清水・志村坂上・前野)

清水地区 佐藤 克枝

3月26日(日)、今回のブロック研修は人気の高い羽田の工場見学に行きました。

まずは日本航空整備工場です。展示エリアでは制服体験など遊び心のある展示も楽しみ、航空教室で学んだ後いよいよ格納庫へ。下から見上げる大きな機体は圧巻!滑走路での離発着も目前に、いつもと違う角度から見る貴重な体験でした。

あいにくの天気のためバスで昼食をとり、次はクロネコヤマト羽田クロノゲートです。完全機械化された巨大レーンで荷物が高速仕分けされていく様子などを見て回り、最後には在庫管理システム体験をしながら文房具のお土産をいただきました。

積極的に質問をする様子も見られ、興味関心を持ってきっかけとなったようです。何事にも好奇心を持って見聞を広めることの大切さを感じる一日となりました。

